祝 新本部庁舎完成

あけの

発行所
明野駐屯地
広報班



着工当初の様子
2025.1

建設中盤の様子
2025.6

完成間近の様子
2026.1

司　令　挨　拶

令和８年４月15日(水)、新本部庁舎の完成に伴い落成式を行いました。

明野駐屯地は現在、航空機の運用、職種の教育・研究の継続を念頭に施設の抗堪性向上を図りつつ全体最適化整備を進めており、その先駆けとして、令和６年９月から建設を進めてきた新本部庁舎が完成したことにより、更に運用、教育・研究を効果的に実施できるようになりました。

落成式では、伊勢市長をはじめ、近隣の首長、自治区長及び小中学校長、駐屯地各協力会の皆様並びに建設関係者のご参列の下、改めて新本部庁舎建設へのご理解に感謝をお伝えするとともに、国民の期待に応えることのできる航空戦士の育成や将来の陸上航空創造へのより一層の努力を誓いました。



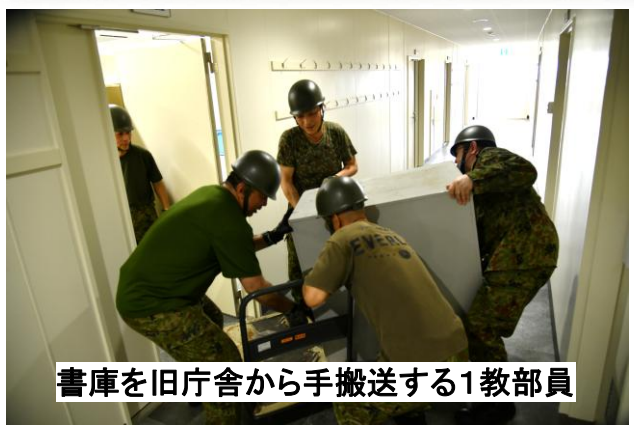
内　　覧

なお、庁舎の内覧会を行い、運用の中枢となる場所等を披露しました。なお、５月から約１ヶ月をかけて一件の不安全等もなく無事に移転を完了し、６月から本格運用を開始しました。

また、昭和30年に建設されてから71年が経過した旧本部庁舎は引き続き別の用途で運用してまいります。



明野駐屯地のシンボルマークがあしらわれたマンホール



書庫を旧庁舎から手搬送する1教部員



新研究部事務室

第六十三回 神宮式年遷宮 奉祝

「第一次 お木曳行事」

明野駐屯地は令和８年４月12日から６月13日の間、第六十三回神宮式年遷宮の第一次お木曳行事に参加しました。

本行事では、市職員や商工会議所関係者等とともに地域住民と連携して、曳手(特別神領民)の他、誘導要員等ボランティアスタッフとしても参加し、町内曳行から最終曳行までを無事に完遂しました。

伊勢の伝統的な民俗行事を支える一助となったことで、地域住民との信頼関係を更に強化することができました。

なお、お木曳行事は入校学生も多数参加して本行事の運営に寄与するとともに、入校間の良き思い出を作っていました。

～ 参 加 の 記 録 ～



～ 小 俣 町 で の 町 内 曳 き の 様 子 ～



▲町内曳きに参加する駐屯地司令



▲町内曳き完遂後の様子

令和8年度予備自衛官招集訓練



着隊申告

明野駐屯地は、令和８年６月26日～同年７月12日までの間、第１回予備自衛官召集訓練を、同年７月10日～同年７月14日までの間、第２回予備自衛官召集訓練を実施しました。

今年度から明野駐屯地として初めて招集訓練を担任することとなり、三重県をはじめ近隣県からも出頭予備自を受け入れて訓練を行いました。

招集された予備自衛官は、申告後、各種教育・訓練等に精力的に取り組んでいました。

参加した予備自衛官からは、「十数年前の退職時と現在では自衛隊に求められていることが大きく変わってきている。現役自衛官とともに国民を守っていきたい。」との感想をもらいました。



受付・被服交付



概況説明



各種検査







航空科職種説明及び現地研修



サイバー攻撃教育



無人機対処教育



武器分解・結合







救急法訓練（装備品点検、心肺蘇生法）



射撃予習





小銃射撃検定



拳銃射撃検定







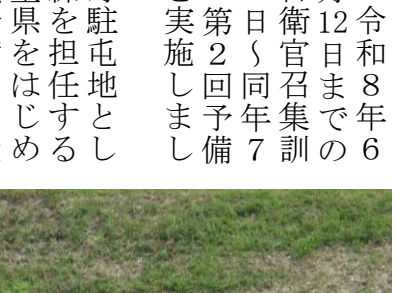
駐屯地警備に必要な格闘技術





不法行動対処

新編 第１１２飛行隊



部隊旗授与

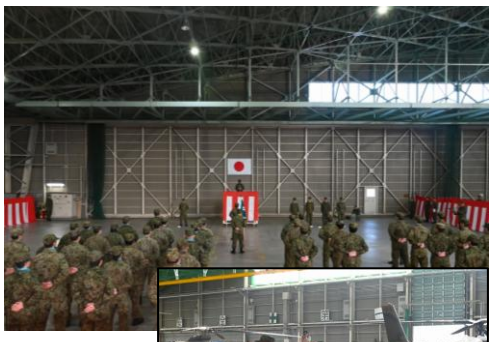
令和８年３月23日付で第５対戦車ヘリコプター隊が編制解組し、同日付で第１１２飛行隊が新編しました。

第５対戦車ヘリコプター隊は、対戦車ヘリコプターＡＨ－１Ｓ、観測ヘリコプターＯＨ－１を装備し、敵戦車等の撃破を主たる任務として、平成６年３月28日に陸上自衛隊として５番目（最後）となる対戦車ヘリコプター部隊として明野駐屯地に新編されました。

平成８年４月に隊舎・格納庫が竣工、平成26年３月の縮小改編で、隊本部、飛行支援隊、飛行隊態勢へ移行し、この間、五度にわたる米国におけるＡＨ射撃訓練、六度にわたるＯＨ対空実射訓練等に参加し、着実にその練度を積み上げるとともに、平成23年の東日本大震災をはじめ、平成30年７月豪雨、令和６年能登半島地震等数々の災害派遣活動にも従事しました。

この度その編制を解かれ、第１１２飛行隊へ任務を引き継ぐ運びとなりました。

新編された第１１２飛行隊は、初代飛行隊長、野呂 和矢（のろかずや）２等陸佐を筆頭に、中部方面区唯一の対戦車ヘリコプター部隊として、第５対戦車ヘリコプター隊の任務・伝統を継承しつつ、第一歩を踏み出しました。



編制完結式の様子

【防 災】 市立伊勢総合病院との共同訓練

航空学校は令和８年２月26日、市立伊勢総合病院と共同訓練を行いました。

訓練では、多用途ヘリコプターＵＨ－２を使用して、航空学校隊員及びDMAT（災害派遣医療チーム）による患者担架の搭載、伊勢総合病院屋上へリポートへの着陸、病院スタッフへの患者引継ぎまでの一連動作の他、物資空輸等を実施して相互理解を深めたとともに、災害時等における共同対処能力を向上することができました。



物資空輸



病院屋上に着陸するUH-2



衛生科隊員とDMATによる患者搬送訓練



明野飛行場において打ち合わせする隊員とDMAT

富士総合火力演習



航空学校及び飛行教導隊は、５月16日から６月７日までの間、令和８年度富士総合火力演習（東富士演習場）に、ＡＨ１Ｓ×２機、ＵＨ２×２機及びＣＨ47ＪＡ×１機の計５機で参加しました。

今回は、Ｖ22（輸送航空隊−佐賀）を除く全機種が明野駐屯地所属の機体で、ＡＨ１ＳによるＧＵＮ射撃等の他、ＵＨ２によるオートバイ空輸、ＣＨ47ＪＡによるヘリボン等を実施し、演習を研修する学生等の教育に寄与するとともに、自らの練度を更に高めました。



オートバイ空輸
（V−22／輸送航空隊 佐賀）



GUN射撃（AH−1S）



オートバイ空輸（UH−2）



ヘリボン（CH−47JA）

海上保安庁との協定改正調印式

令和８年３月６日（金）航空学校／明野駐屯地で第四管区海上保安本部との協定改正の調印式が行われました。

これは、東海地区における海上保安庁航空機に対する救助活動支援に関する内容の改定で、時代の変遷に伴い旧協定が実態にそぐわない状態であったことに加え、通信機器の発達により両者の手続きを簡素化できることから、内容の見直し・改正に至りました。

これまでの大規模災害発生時の海保航空機は、海保航空基地やヘリコプター搭載巡視船を拠点に救助活動を行っていましたが、今回の改正により、明野飛行場を活動拠点として提供し、海保航空機に対する燃料給油等の援助も行うことが可能となりました。

今回、調印式に併せ海上保安庁航空機「いぬわし」への燃料補給訓練も実施し、陸上自衛隊の燃料タンク車から海上保安庁の航空機に燃料補給が可能であることを実際に確認しました。

今後、いつ起きてもおかしくない南海トラフ地震等の大規模災害に備え、組織の垣根を越えて、より一層迅速かつ円滑に連携し、国民の生命と財産を守り抜く決意を新たにしました。



▲海保本部長及び学校長による改正調印式



▶チャレンジコイン交換



▶海保航空機「いぬわし」への給油訓練

○○○真珠抄○○○

『挺身（ていしん）利他（りた）』

聞きなれない言葉だと思いますが、私の職種である武器科精神で使われる言葉です。

『武器科は、「営々不屈」と「挺身利他」の精神のもと、技術と叡智を結集して支援任務を完遂する。』というものです。

今回は、「挺身利他」について述べさせて頂きます。

まず、挺身とは、「率先して身を投げ出し、困難な物事にあたること」という意味です。

利他は、「他人に利益を与えること、自分を犠牲にして他人のために尽くすこと」という意味となります。

私たち武器科の隊員は、どんな困難な状況下であっても、火力・機動力の根源を支える被支援部隊の任務達成を第一に考え、あらゆる手段を尽くし、支援任務を完遂するために全力を尽くします。その為にも、普段の工場での整備だけでなく、野外における整備技術・回収能力を向上させる必要があります。

しばしば全隊員をもって野外訓練に参加し、駐屯地の皆様にはご不便をお掛けしますが、ご理解の程宜しくお願い致します。

第１０７全般支援大隊明野派遣隊長
３等陸尉　山本　飛馬

栄光の紹介



交通事故による人命救助
航空学校整備部　前田３尉
「人命救助最優先、命を大事にします。」



交通事故による人命救助
航空学校整備部　岸本曹長
「事故の当事者とならないよう防衛運転に努めたいと思います。」



交通事故による人命救助
航空学校整備部　畑山２曹
「他山の石として自分自身もより一層交通安全に努めていきたいと思います。」



第１３２期幹部上級課程学校長賞
飛行実験隊　齋藤２尉
「感謝の気持ちを忘れることなく『先駆躍進　部隊のために』精進します。」



初級陸曹課程　混成団長賞
管制気象隊第１派遣隊　北乾士長
「初級陸曹として、新しい風を吹かせていきます。」

定年退官

（退官日順）



令和８年２月11日
航空学校整備部
１等陸尉
吉田　茂晃



令和８年３月３日
航空学校第１教育部
准陸尉
野口　直樹



令和８年３月10日
航空学校総務部
陸曹長
遠藤　努



令和８年３月23日
中部方面管制気象隊
第１派遣隊
陸曹長
水口　寛和



令和８年３月30日
航空学校企画室
１等陸佐
加藤　浩



令和８年５月５日
航空学校第２教育部
２等陸佐
丹羽　和豊



令和８年５月23日
第３０６基地通信中隊
明野派遣隊
陸曹長
西端　しな子

新着任部隊長紹介



飛行実験隊長
１等陸佐
山岸　和彦

飛行実験隊長として、先駆躍進・部隊のため、職務に邁進します。



第１１２飛行隊長
２等陸佐
野呂　和矢

初代第１１２飛行隊隊長に上番しました。
よろしくお願いします。



第10飛行隊長
２等陸佐
須甲　薫

清く正しくそして楽しく勤務していきます。
よろしくお願いします。



管制気象隊第１派遣隊長
３等陸佐
大西　祥司

管制・気象・通信の強固な連携で航空安全の確保に尽力します。



第３０６基地通信中隊明野派遣隊長
２等陸尉
緒方　謙太郎

ユーザーニーズ即応を第一義とし、安心安定したシステム通信提供を追求していきます。
よろしくお願いします。



第１０７全般支援大隊明野派遣隊長
３等陸尉
山本　飛馬

隊員共々頑張ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

駐屯地開設71周年、航空学校創立74周年

航空祭は11月21日（土）開催決定！！



明野の「撮っておき！！」

航空学校のプロカメラマン（写真陸曹）が撮影した写真を公式SNSで公開中







